

レオン・デュリ領事と広運館の学生



↑レオン・デュリ領事と広運館の学生
Collection Christian POLAK



↑レオン・デュリ領事と広運館の学生
Collection Christian POLAK



1870年に閉鎖されることが決まった在長崎フランス領事館を辞したデュリは同年10月、前任者であるフルベッキの代わりとして、広運館のフランス語教師に雇用された。
広運館での同僚には名村泰蔵がおり、2人でフランス語を担当していた。広運館ではデュリが学生にフランス語の発音と読み方を教えると、助手がこれを通訳する方法で授業が行われていた。フランス語学生数は48人であった。
デュリが広運館の学生とともに写った古写真は2枚が現存しており、写場床の敷石の残存状況から左下の古写真は彼が広運館に雇用されたばかりの早い時期に撮影されたものと推測されている。
一方、右上の写真では広運館の学生たちの多くが断髪していることから1871年9月の「散髪脱刀勝手令」布告後、デュリの退任直前に撮影された集合写真と比定されている。